

「より良い進路実現(就職)に向けて」

進路指導課 近藤 浩志

私は今年度より、卒業生が就職した企業訪問をする機会を得ることとなりました。これまで企業に赴き採用担当の方々とお話をさせていただく経験はなかったので、最初は緊張して臨むこととなりました。私自身、新鮮な体験となり喜びを感じながら取り組んでいます。

訪問する度、企業の方々から感じる印象は、高校生を貴重な働き手として期待を寄せているということです。また、「優秀な生徒さんを寄越してくださり有り難うございます。」と、就業した先輩を迎え入れた企業様は感謝の気持ちを述べられます。先輩の頑張りが認められているからこそその言葉なのですが、私までもが誇らしく、嬉しい気持ちになります。社会人となった先輩方が日々努力し、企業に貢献し、それが社会貢献へと繋がっていることに感謝の気持ちを抱きます。地元を支えているのは皆さんの先輩たちなのです。

近年、あらゆる業界で人手不足が叫ばれるようになりました。皆さんは就職しようと思えば選べる立場、いわば売り手市場の状態にあります。しかし、求人の状況は国内外の経済情勢に大きく左右され、刻一刻と変化していくのも現実です。実際、前期会計期間の決算で業績が芳しくない企業は当期の雇用を見合わすという雇用計画を耳にしました。ただどんな雇用の状況においても対応できる人間的な成長、社会人として必要とされる素養を身に付けておく必要があります。その中でも基本的な生活習慣が備わっているということは大切なことであり、企業の方もそういった人を求めています。学校生活の場面で何度も聞いたことがある、「欠席をしない(皆勤を目指す)、遅刻をしない、時間に余裕を持った行動をする(5分前行動)」この生活習慣をしっかり定着させることを徹底しましょう。そして基本的な生活習慣+高校時代に何を頑張り、努力したのか話せるように高校生活を送ってください。頑張るものは何だっていいのです。学習活動(漢字テスト、英単語テスト、読書、検定)、部活動、委員会活動、ボランティア活動など、機会(チャンス)は至る所に存在しています。

3年生諸君にお伝えします。いよいよ7月1日から求人票受付開始となります。「働く目的」を自分の中で明確にし「自分自身を知る」ことで、「自分をいかし、自分を伸ばす」ことに意識を強く持ってください。

就職活動をする高校生に対して、私たち教職員は「教える・指示する」だけでなく、「共に考える」関わりが必要だと感じています。保護者の皆様、進路のことで御相談等あれば本館1階の進路指導室にお気軽にお立ち寄りください。